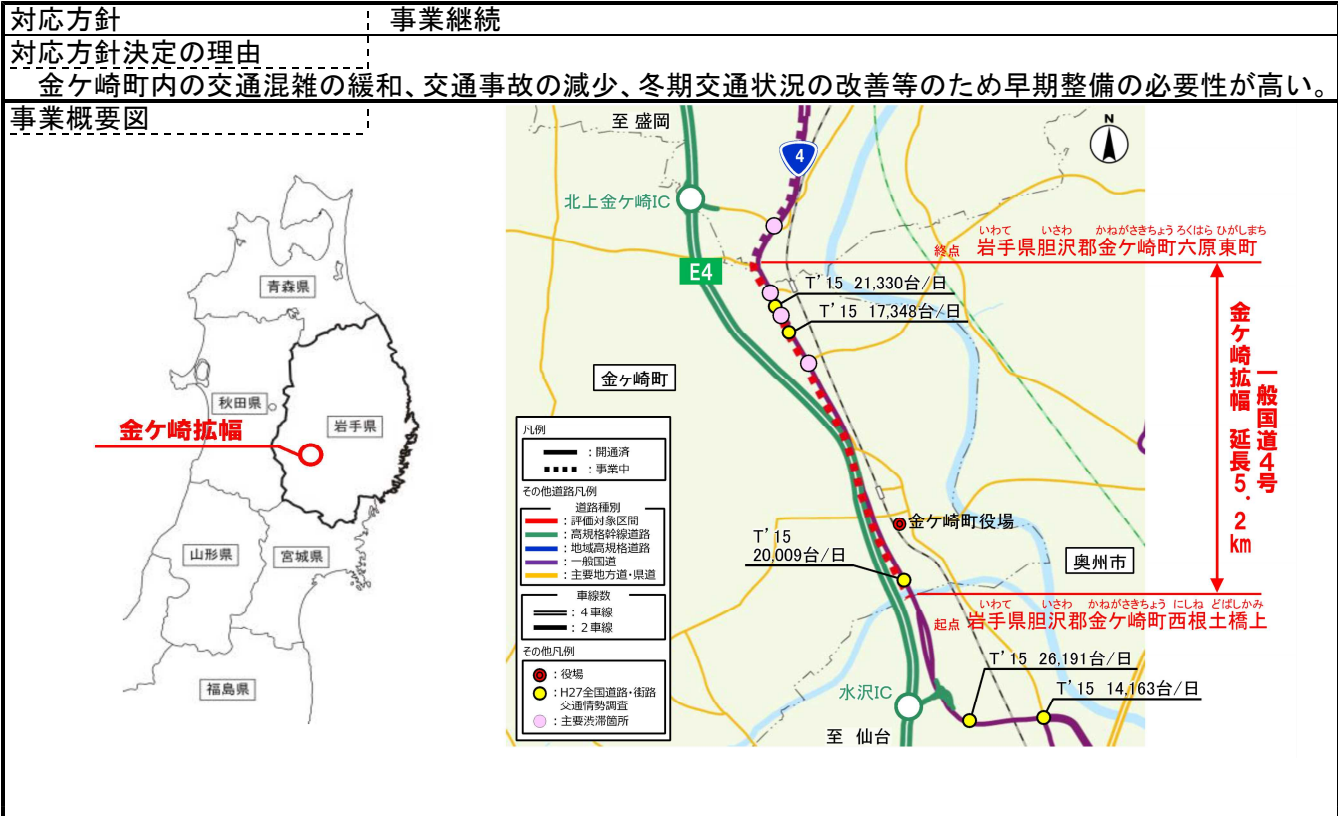


## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道4号 <small>かねがさきかくふく</small> 金ヶ崎拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上 <small>いさわぐんかねがさきちょうにしねどぼしかみ</small> 至：岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原東町 <small>いさわぐんかねがさきちょうろくばらひがしまち</small>			延長	5.2 km
事業概要					
一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長836.4 kmの主要な幹線道路である。金ヶ崎拡幅は胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上から胆沢郡金ヶ崎町六原東町に至る延長5.2 kmの4車線道路である。					
H29年度事業化		H28年度都市計画決定		H31年度用地着手	
R2年度工事着手					
全体事業費	約95億円	事業進捗率	約7%	供用済延長	-km
		(令和3年3月末時点)			
計画交通量	24,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 3.1 (残事業) 3.4	(残事業)/事業全体 90億円/101億円 事業費：67億円/78億円 維持管理費：23億円/23億円	(残事業)/事業全体 308億円/308億円 走行時間短縮便益：281億円/281億円 走行経費減少便益：23億円/23億円 交通事故減少便益：5.3億円/5.3億円	令和3年	
感度分析の結果					
【全体事業】 交通量変動：B/C=2.9~3.3(交通量±10%) 事業費変動：B/C=2.9~3.3(事業費±10%) 事業期間変動：B/C=3.0~3.2(事業期間±1年)					
【残事業】 B/C=3.2~3.7(交通量±10%) B/C=3.2~3.7(事業費±10%) B/C=3.3~3.6(事業期間±1年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 (渋滞損失時間：54.3万人時間/年、渋滞損失削減率：約9割削減)					
②国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線の整備により、金ヶ崎町から圏域中心都市の北上市へのアクセス向上が見込まれる。 (金ヶ崎町～北上市 現況28分⇒将来22分)					
③災害への備え ・岩手県地域防災計画において、緊急輸送道路（第1次路線）に指定					
他6項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
○岩手県知事の意見					
1 「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。					
2 一般国道4号金ヶ崎拡幅は、自動車産業など東北有数の産業集積地である北上・金ヶ崎地域の渋滞区間の緩和・解消などの効果が期待されることから、早期完成に向けて、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。					
また、本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する事業においても十分検討し、活用していきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。					
○以下の団体等から、金ヶ崎拡幅の整備促進について要望あり 岩手県（知事）、金ヶ崎町（町長）					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針（原案）の事業継続は妥当である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・平成29年度新規事業化、用地進捗率5%、事業進捗率約7%（令和3年3月末時点）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業の進捗に係る問題はない。					
施設の構造や工法の変更等					
・歩道拡幅構造（函渠継ぎ足し構造）の見直しによるコスト縮減を図っている。					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。